

## そろそろ冬支度。暖房器具を出す季節になりました。

吐く息の白さに冬の訪れが近いことを感じてしまいます。夜や早朝の寒さに暖房器具が欲しくなる頃。もうストーブを出したり、エアコンを冷房から暖房に切り替えたご家庭もあるのではないのでしょうか。

ところで、暖房器具が原因でおこる火災が非常に多いことをご存じですか。中でも多いのが石油ストーブ。干してあった洗濯物や近くにあった布団、もれた灯油などに着火して火災になる例が毎年多くの犠牲者を出しているそうです。悲しい事故をおこさないように気をつけて、暖かい冬を過ぎて下さいね。

### ◇暖房器具を出してきたら。

効果的にかつ安全に一冬使うために、まず点検してから使い始めましょう。暖房器具にも色々ありますが、必ず汚れやゴミが残っていないか、器具がこわれていないかをチェックして下さい。



#### ① 石油ストーブ

給油口の口金に錆や変形などがないかをチェック。本体からも油がにじみでたりしていないかを確認します。その上で良く絞った雑巾で、使わなかった間にたまったホコリを掃除します。もしも昨年の灯油が残っていたら、抜き取って一旦空にしてから、使い始めます。

#### ② ファンヒーター

コンセントに電源プラグをいれる前に、本体を良く絞った雑巾で拭き、吹出し口は掃除機でホコリを吸い取ってから乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。ガスストーブの場合は、ガスホースにひび割れがないかも点検して下さいね。

#### ③ 電気ストーブ・電気こたつ

コンセントを電源プラグにさす前に、熱線部分は掃除機でホコリを吸い取り、本体は良く絞った雑巾で掃除します。電気コードが傷んでいないかも要注意。しまう時に結んであった電気コードは、特に傷んでいる可能性が高いので注意して下さい。

### ◇暖房効果をあげるためには。

「暖房つけててもちっとも暖かにならないの」と悩んでいらっしゃるいませんか。家が古いから仕方ない・・・なんて諦めないで下さいね。家の中の熱がもっとも逃げやすいのが開口部＝「窓」です。

もっとも簡単な方法は、厚い生地のカートンを天井から床までかけて、窓からの冷気が部屋に入らないようにすること。壁とカーテンの間をつくらないカーブ型のカーテンレールや、中央部にできてしまう左右のカーテンの隙間をつくらないための交叉レールというのも開発されています。

もうひとつは、二枚のガラスで仕上げたペアガラスにかえる方法。二枚のガラスの間に密閉した空気層が、室内と外の熱が移動するのを遮断してくれます。どんな窓にでもアタッチメントなどを使って取り付ける事ができるのが便利。結露対策にも効果的です。ガラスに防犯ガラスを使えばさらに安心ですね。

### ◇頭寒足熱は古人の知恵・・・床暖房は先人の知恵。

空調の悪い建物で、体は寒いのに頭がポーツとして困ったことはありませんか。これは「冷えのぼせ」という現象。熱は低いところから高いところに流れる性質があるので、空調で室内の空気をうまく循環させないと、上ばかり暖かくなって足元は寒いままという結果を招いてしまいます。

足元を暖かく頭部を涼しくは快適な生活の基本。床暖房は、エアコンや電気ストーブなど空気を暖める暖房方法に比べ、体の一部を直接暖めるので室内温度は18℃程度でも充分暖かく過す事ができます。部屋の空気を汚したり、乾燥させたりしなのも気持ち良いですね。部屋全体に施工しなくても、いつも人が集まる場所等一部に取り付けるだけで暖かく過ごせます。簡単なリフォームで取り付けることができるので、特に冷え症で悩んでいる方にはお薦めです。



来る寒い冬ー暖かくして快適に健康に過ぎて下さいね。

住まいのことなら何でも私達fbにご相談下さい。